

**週刊 タバコの正体**

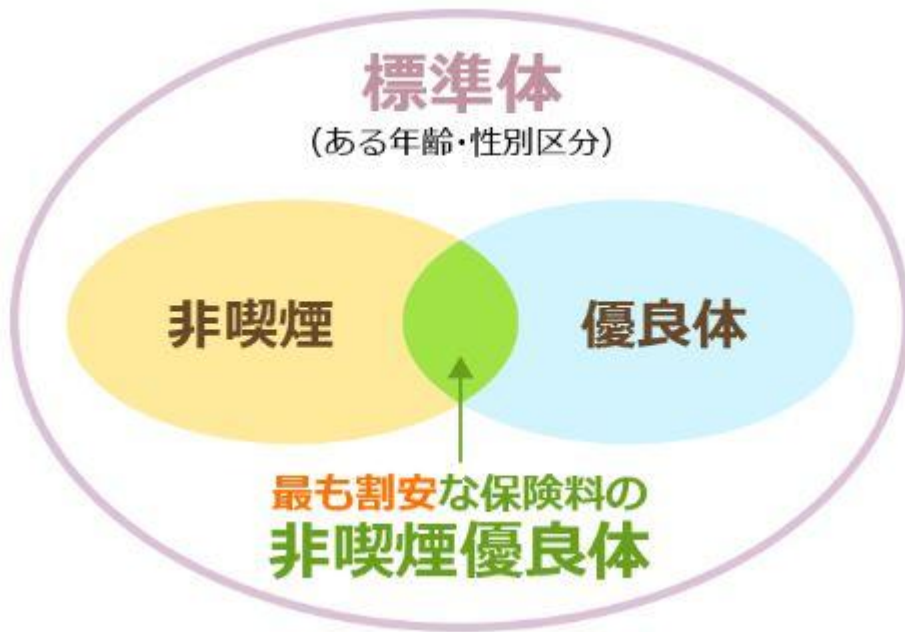
喫煙習慣がある人は健康を損なう確率が高くなります。だから、病気になる可能性はタバコを吸わない人に比べると高くなるのは当然です。そこで、下の図を見てください。じつは病気になる確率が高い人とそうではない人では、生命保険の保険料に差があるのです。

保険料は対象となる人の死亡リスクによって決まるので、以前から若い人に比べ年齢の高い人の方が保険料は高く設定されていました。しかし、同じ年齢でも健康状態が同じだとは限りません。特に喫煙者は非喫煙者に比べ死亡リスク

が高いとする認識が一般的となってきたので左図のような分類ができ、最も保険料が安い分類が「非喫煙優良体」と呼ばれています。下の表は、ある保険会社の例ですが、かなり差がありますよね。

タバコ代にお金をつぎ込んだ上に、保険料まで高くつくのですから、喫煙はまったく馬鹿げていると思いませんか。

産業デザイン科 奥田 恭久



価格.COM 「タバコを吸わない人は保険料が安くなる？」サイトから

**非喫煙優良体**  
【ファーストクラス】



保険金額1,000万円／35歳・男性／保険期間20年の場合のクラス別保険料比較

月払保険料 <b>1,740円</b>	<b>保険料、最大 52.9%割引!</b>
月払保険料 2,510円	約32%割引
月払保険料 2,780円	約24%割引
月払保険料 3,700円	

非喫煙標準体  
【セカンドクラス】



喫煙優良体  
【サードクラス】



標準体  
【スタンダードクラス】



メットライフ生命 HP から